



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月10日

上場会社名 株式会社 永谷園ホールディングス
 コード番号 2899 URL <http://www.nagatanien-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永谷 泰次郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長

(氏名) 江口 輝

TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	24,944	11.8	1,011	71.9	1,338	125.3	1,015	316.0
2018年3月期第1四半期	22,303	18.3	588	33.2	594	33.9	244	47.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 291百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 7百万円 (98.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	28.21	
2018年3月期第1四半期	6.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	89,094	33,835	36.8
2018年3月期	89,786	33,824	36.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 32,811百万円 2018年3月期 32,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		7.75		7.75	15.50
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		7.75		15.50	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円75銭となり、1株当たり年間配当金は15円50銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	7.2	4,650	30.4	4,600	44.5	2,750	65.8	152.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	38,277,406 株	2018年3月期	38,277,406 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	2,298,196 株	2018年3月期	2,296,634 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	35,979,779 株	2018年3月期1Q	35,943,833 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 株式併合後の配当及び連結業績予想について

当社は、2018年6月28日開催の第65回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

(1) 2019年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 7円75銭(注1) 期末 7円75銭(注2)

(2) 2019年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 76円43銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 2019年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は15円50銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。しかしながら、貿易摩擦など世界経済における不確実性への懸念により、依然として先行きは不透明な状況が継続しております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高249億44百万円（前年同期比11.8%増）となりました。利益面につきましては、営業利益10億11百万円（同71.9%増）、経常利益につきましては、為替差益を計上したことにより13億38百万円（同125.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益を計上したことにより10億15百万円（同316.0%増）となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

①国内食料品事業

永谷園においては、5月17日の「お茶漬けの日」にちなんで、プロ野球公式戦での「お茶漬けの日スペシャルマッチ企画」やコンビニエンスストアとお茶づけ商品を使ったお弁当等の「コラボ企画」など、「お茶づけ商品」の拡売に向けた取り組みを実施いたしました。

また、「松茸の味お吸いもの」においては、広告宣伝と連動した新たなアレンジレシピの提案により汎用性を訴求することで、更なる需要拡大を図りました。

新商品では、2018年6月に発売した、はまぐりの上品な味わいを手軽に楽しむことができるお吸いもの「はま吸い」がご好評いただき、好調に推移いたしました。

藤原製麺においては、生ラーメンなどが堅調に推移し、売上に貢献いたしました。また、新商品として、北海道限定で挽きぐるみそば粉を使用した「早ゆで90秒!ざるそば二人前」を発売いたしました。

以上の結果、国内食料品事業の売上高は160億89百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

②海外食料品事業

Chaucer Groupにおいては、米国市場を中心に企業向けフリーズドライフルーツ製品の売上が好調に推移いたしました。また、前第3四半期連結会計期間末より、主に米国アジアンフーズカテゴリー向けに麺商品を供給しているMAIN ON FOODS, CORP.を新たに連結の範囲に含めております。

以上の結果、海外食料品事業の売上高は57億89百万円（前年同期比73.2%増）となりました。

③中食その他事業

麦の穂グループにおいては、「ピアドパパ」にて、「クッキー&クリームシュー(3月)」等の月替りの限定シュークリームを販売し、売上に貢献いたしました。また、お客様の好みに合わせて様々な生地とクリームの組み合わせが楽しめる「春のシュークリーム祭り」もご好評をいただきました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は30億65百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より6億92百万円減少し、890億94百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具並びに投資有価証券が増加したものの、建設仮勘定及びのれん並びに現金及び預金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より7億2百万円減少し、552億59百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、長期借入金及び流動負債その他に含まれる未払金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は主に、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことにより338億35百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より39百万円増加の328億11百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇の36.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね当初計画の範囲内で推移していることから、2018年5月11日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,481	7,856
受取手形及び売掛金	14,022	14,269
商品及び製品	5,428	5,488
仕掛品	1,393	1,386
原材料及び貯蔵品	5,357	5,547
その他	1,831	1,813
貸倒引当金	△34	△30
流動資産合計	36,480	36,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,387	18,340
減価償却累計額	△11,624	△11,612
建物及び構築物(純額)	6,763	6,727
機械装置及び運搬具	25,204	25,923
減価償却累計額	△17,534	△17,483
機械装置及び運搬具(純額)	7,669	8,439
土地	11,251	11,100
リース資産	2,199	2,115
減価償却累計額	△1,034	△980
リース資産(純額)	1,164	1,135
建設仮勘定	1,126	167
その他	2,496	2,484
減価償却累計額	△1,950	△1,973
その他(純額)	545	510
有形固定資産合計	28,521	28,081
無形固定資産		
のれん	13,760	13,030
その他	170	220
無形固定資産合計	13,930	13,250
投資その他の資産		
投資有価証券	8,126	8,712
その他	2,816	2,809
貸倒引当金	△89	△90
投資その他の資産合計	10,853	11,431
固定資産合計	53,305	52,763
資産合計	89,786	89,094

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,884	6,584
電子記録債務	2,731	2,557
短期借入金	6,808	7,870
未払法人税等	590	701
賞与引当金	608	473
その他	7,583	7,172
流動負債合計	25,207	25,359
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,752	15,748
役員退職慰労引当金	68	73
退職給付に係る負債	288	274
資産除去債務	248	252
その他	3,396	3,551
固定負債合計	30,754	29,899
負債合計	55,961	55,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,197	6,197
利益剰余金	25,444	26,238
自己株式	△2,053	△2,055
株主資本合計	33,092	33,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,345	2,748
土地再評価差額金	△3,340	△3,398
為替換算調整勘定	631	△455
退職給付に係る調整累計額	43	33
その他の包括利益累計額合計	△320	△1,072
非支配株主持分	1,052	1,023
純資産合計	33,824	33,835
負債純資産合計	89,786	89,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	22,303	24,944
売上原価	12,901	14,925
売上総利益	9,402	10,019
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,910	2,907
賞与引当金繰入額	144	125
退職給付費用	70	64
その他	5,687	5,910
販売費及び一般管理費合計	8,813	9,008
営業利益	588	1,011
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	89	62
持分法による投資利益	9	—
為替差益	—	266
不動産賃貸料	30	42
その他	34	41
営業外収益合計	164	416
営業外費用		
支払利息	67	59
持分法による投資損失	—	2
為替差損	37	—
その他	53	28
営業外費用合計	158	89
経常利益	594	1,338
特別利益		
固定資産売却益	—	267
補助金収入	23	—
特別利益合計	23	267
特別損失		
減損損失	1	7
店舗閉鎖損失	9	13
特別損失合計	11	21
税金等調整前四半期純利益	607	1,584
法人税等	384	534
四半期純利益	223	1,049
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	244	1,015

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	223	1,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232	402
繰延ヘッジ損益	99	—
為替換算調整勘定	△450	△1,150
退職給付に係る調整額	12	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	△110	—
その他の包括利益合計	△216	△758
四半期包括利益	7	291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	320
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,990	3,342	2,971	22,303	—	22,303
セグメント間の内部売上高又は 振替高	32	—	13	46	△46	—
計	16,022	3,342	2,984	22,350	△46	22,303
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,188	△40	7	1,156	△567	588

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△567百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△568百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,089	5,789	3,065	24,944	—	24,944
セグメント間の内部売上高又は 振替高	24	2	13	39	△39	—
計	16,113	5,792	3,078	24,984	△39	24,944
セグメント利益	1,188	129	49	1,367	△356	1,011

(注) 1 セグメント利益の調整額△356百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△356百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、報告セグメント別の業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を一部変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。